



# Web Fairy Paradise

**暫定版**

**第23号**

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第22回WFPフェアリー作品展
- ・ 推理将棋33回出題
- ・ OFM 第158回出題
- ・ Fairy of the Forest#23出題
- ・ 1手詰?コンクール

結果発表

- ・ 第21回WFPフェアリー作品展
- ・ OFM 第157回出題
- ・ 推理将棋第32回出題
- ・

読み物

- ・ お便りより(森作に余詰発見 雲海)
- ・ 妖精賞の系譜(10)
- ・
- ・



**2010/5**

## はじめに

あらかじめ違う原稿を書いていたのだがフェアリー界（&私）にとってちょっと嬉しい出来事があったので急遽差し替えます。

下の図は昨年（2010年）の12月に第31回神無一族の氾濫5番にて発表された私の作品です。

強欲ばか詰 47手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			科	科					四
	科	科	科	科	科	科	科	科	五
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	六
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	七
王	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	八
	桂								九

持駒 飛

正解者が、市村さん、増田さんのたった2名の難解作。

この作品の解図に関する話が、週刊文春5月27日号の先崎学「先ちゃんの浮いたり沈んだり」に掲載されたのです。日ごろはこのエッセイを読むためにだけに本屋へ行って立ち読みするのですがさすがに今回は流石に買いました。

全部転載したいくらいなのですが、さすがにそれはまずいので、皆さん是非、買って読んでみてください。全1ページの2 / 3位この作品を解く悪戦苦闘ぶりが書かれています。それにしても将棋のプロがこの作品に半日も全力で考えていたとは作者冥利につきますね。解けたと思ったが答えを見たら間違っていたと言うのも思わず笑っちゃいます。そりゃまあ駒井さんもギブアップした作品ですからね。

最後には、昨年の年間最優秀作品に選ばれた松田圭一、安江久男作の推理将棋も紹介されていてフェアリー界にとってはいい宣伝になりました。よかったよかった。

あれ？そう言えば私の名前はどこにも…  
(泣)

## 【募集】

### 作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

### 感想

第22号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：[takuji@dokidoki.ne.jp](mailto:takuji@dokidoki.ne.jp)

### 協力いただいている方々のHPアドレス

\* ご協力感謝します

#### 妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

#### 詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

#### 詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

#### Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

#### K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

#### イラスト・素材提供：幻想素材サイトFirst Moon

<http://www.first-moon.com/>

\* 表紙のイラストを使用させて頂いております。

[ 作品投稿要項 ]

- 1) 作品投稿は随時受け付けています
- 2) ルールは不問です。フェアリー系ルールならばかしこでも可です( 安南詰 etc)
- 3) FM 等で検討済みの場合はその旨を付記して下さい
- 4) FM 等で検討出来ない場合は検討の手伝いをします

[ 解答要項 ]

解答締切：平成21年 6 月15日

本作品展は、正式発表とし TOP IXの対象となります。また解答のコメントは結果発表にて掲載いたしますのでご了承下さい

作品投稿及び解答は

webfairyparadise\_you@yahoo.co.jp

をお願いします

余詰・近況報告は

<http://circe-pro.cocolog-nifty.com/blog/>

で行っています。確認の上、解答下さい

ルール説明

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方玉を詰ます

【協力白玉詰】

先後協力して最短手数で攻方玉を詰ます

【スタイルメイト】

王手は掛かっていないが、合法手のない状態

【最悪詰】

攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く白玉が詰むように応じる。千日手は許容するものとする

【禁欲】

攻方は駒を取らない王手があれば、その手を選択しなければならない。受方は駒を取らない王手回避手があれば、その手を選択しなければならない

【対面】

敵駒と向かい合うと、互いに利きが入れ替わる

【アンチキルケ】

1. 駒取りを行った場合、駒取りをした駒は最も近い初形位置に戻る
2. 5筋の金銀桂香は取った側が戻る位置を選択できるが、片方にのみ戻れる場合はどちらに強制的に戻る

3. 成駒は成ったまま戻る
4. 初形位置に戻れない駒は戻らない
5. 駒取り発生時、駒が戻るまでを一手とする
6. 詰みの概念はフェアリーに準ずる

【Messigny】

- 1 盤上に置かれている双方の同種の駒（玉を含む。成駒は別種の駒として区別する）は1手でその位置を交換することができる
2. 交換する時に駒を裏返すことは出来ない
3. 行き所のない駒や、二歩が発生するような交換は禁手
4. x と y の位置にある駒を交換する着手を y / x で表す

【前置き】

第二番に関してですが、一応2解ありますがこのルールの問題提起的な物になっています。解答は1解で問題ないです

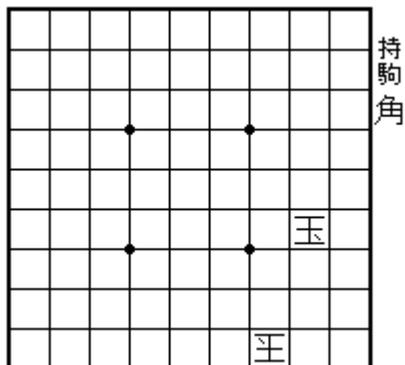
少し事故がありまして出題稿・結果稿が逝きました。作り直しますので遅れてます。きちんとバックアップは取っておけという事でしょう。本当は推理将棋大作を出題予定でしたが前回の余詰の事もあり自重で。もう少し検討したいと思います

今回は色んなルールがありますので楽しめると思います。凄く難解な作品はないかと想像されます(多分

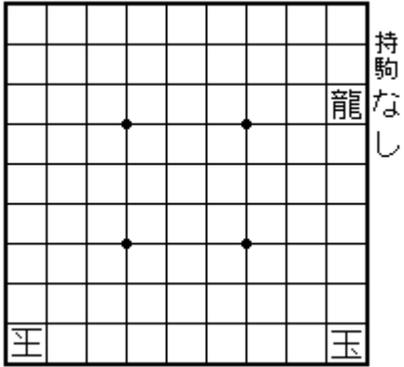
【妖精】

【第一番】 神無太郎氏作

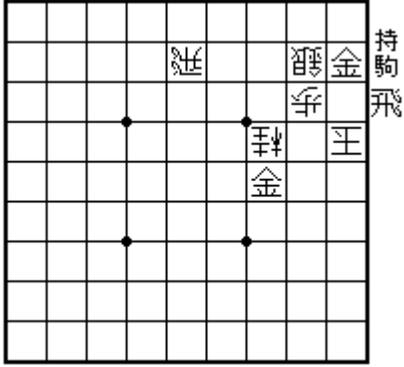
Messigny 協力白玉詰 8 手



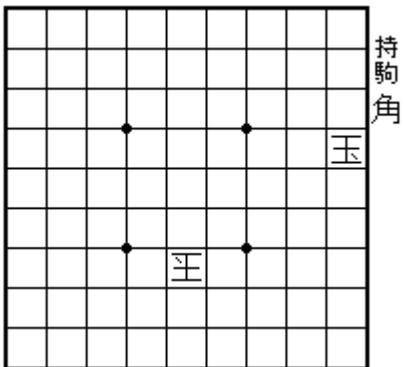
【第二番】 神無太郎氏作  
Messigny 協力自玉詰10手



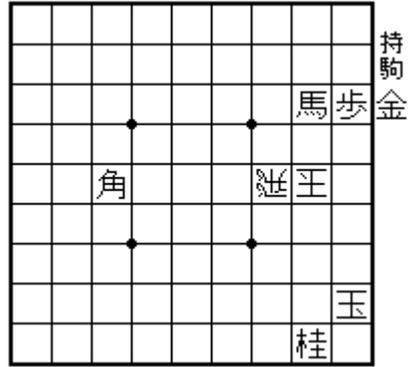
【第三番】 シン氏作  
アンチキルケ協力詰6手



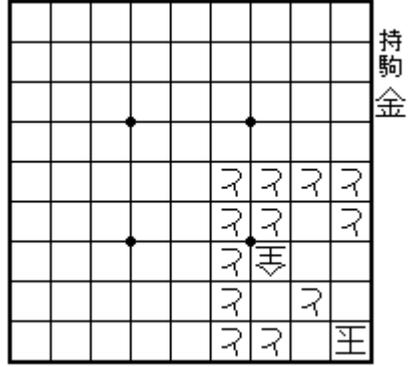
【第四番】 雲海氏作  
対面協力自玉スタイルメイト8手



【第五番】 真T氏作  
最悪詰30手



【第六番】 たくぼん氏作  
禁欲協力詰31手



b) 持駒金 → 金歩

# お便りより

こんにちは、雲海です。

WFPへの読み物の投稿をお送りします。とっても悪いお知らせですが。

最近森茂氏の作品を鑑賞をしているのですが、気になったのがWFP第12号でも紹介されていた「ばか自殺スタイルメイト 80手」の煙詰が未検討ということでした。

73王が16へ移動する、というスケールが非常に大きい傑作ですが、虫が良すぎる（傑作は大抵そうですが）と感じたため本当に成立しているのか調べてみました。

すると、なんと以下の手順が成立していました。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				と		銀	王	銀	一
	歩	歩	歩			香			二
歩		王			香	香	角		三
		香	と			と	飛	と	四
		と			歩	桂	歩	歩	五
と	と	と	と		角	桂		桂	六
				歩		歩		飛	七
銀				金	金	金	金		八
	銀						桂		九

持駒 なし

12角生 11玉 21飛生 12玉 24桂左 21玉  
 22銀生 同玉 12桂成 同玉 13と 同玉 23  
 桂生 35角 24と 同角 14歩 23玉 13歩成  
 同角 24歩 33玉 23歩成 同玉 27飛 32玉  
 24桂 同角 42香成 同玉 53と 51玉 61歩  
 成 同玉 71歩成 同玉 64王 73飛 62と  
 82玉 72と 同飛 65王 46角 73香成 同玉  
 84と 同玉 95と直 93玉 94と 同玉 95と  
 同玉 86と 同玉 87銀 同玉 78銀 同玉  
 68金 同玉 58金 同玉 48金 同玉 38金  
 57玉 47金 同玉 36歩 同玉 26飛 45玉  
 37桂 同角生 46飛 同角生 55と 同角 ま  
 で 80手（非限定多数あり）

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
		飛							二
									三
									四
			王	王	王				五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

角と飛を中合で発生させ、それらの利きでスタイルメイトさせる手順で、巧妙な手順が至る所にあり、指摘が無かったのもうなずけます。（誰も検討しなかつただけかもしれませんが）さて、問題はこの余詰解を消して修正できるかどうかですが・・・うーん、とりあえず62歩→71と、96と→65歩、98銀→96銀（89銀がぼつんと残るのが嫌ならついでに89銀→69銀）でどうでしょう？

作意通り進めて51手目を57金右とし、以下65玉、76と、同玉、87銀以下作意に戻るという手順です。

ただ検討はしていないですが。。。どなたか他に良案があれば教えてください。

修正案

ばか自殺スタイルメイト 80手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		と		と		銀	王	銀	一
	歩	歩				香			二
歩		王			香	香	角		三
		香	と			と	飛	と	四
		と	歩		歩	桂	歩	歩	五
銀	と	と	と		角	桂		桂	六
				歩		歩		飛	七
				金	金	金	金		八
			銀				桂		九

持駒 なし

## Fairy of the Forest#23 出題

- 2010年02月18日：課題発表：握り詰  
＝玉角金銀桂4歩5（協力詰）
- 2010年05月15日：投稿締切
- 2010年05月18日：出題
- 2010年06月15日：解答締切
- 2010年06月18日：結果発表

### ■ 課題発表

雲海一ところで次の課題はもしかして握り詰でしょうか？ 協力詰で握り詰はかなりハードルが高い気がします。

次は出題できる自信が無いです……。受方持駒制限でもやりますか……。

そのとおり、握り詰です。使用駒は「玉角金銀桂4歩5」。成駒可です。双玉については、いちおう可としておきます。

難課題ゆえ投稿が危ぶまれますが、何とぞよろしくをお願いします。

### ■ 出題

危惧したとおり、当初予定していた締切日（4/15）の時点では投稿はわずかに2作。急遽、締切を1月延ばしたものの、作品が増えるかどうかについては半信半疑でした。

しかし、その心配は杞憂に終わりました。久しぶりの神無三郎氏の登場（しかも複数作）もあって、何とか6作集まりました。

三郎氏を初め、難課題に挑戦いただいた作者諸氏に、敬意と謝意を表します。

さて、今回は課題が課題だけに、完成度の面では多くを望めないかも知れません。しかし、握り詰の条件を満たすために諸氏がどんなテクニックを駆使されているかも見ていただきたいと思います。

締切は、当初の予定どおり6月15日（火）とします。投稿締切が延びた分、解答期間が短くなりますが、ご了承ください。

（解答先）

→酒井博久（sakai8kyuu@hotmail.com）

### ■ 23-01 雲海 協力詰 13手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四										
五								科	科	
六								ス		
七								歩		
八					歩	歩	ス	歩		
九							王	銀		

持駒 角桂2

### ■ 23-02 たくぼん 協力詰 15手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四										
五							桂	銀	角	
六							桂	手		
七							ス		王	
八							ス			
九								ス	ス	

持駒 金桂歩

### ■ 23-03 神無七郎 協力詰 21手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四				歩	歩		歩			
五										
六							駒	桂		
七				桂		ス	王			
八						歩	桂	桂		
九							金			

持駒 角

■ 23-04 たくぼん 協力詰 23 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
								ス	六
				科		科	歩	歩	七
				桂	歩		王	歩	八
				桂	と	香		角	九

持駒 なし

■ 23-05 神無三郎 協力詰 37 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					科				一
					科	歩		王	二
					歩	香		歩	三
						角	歩	桂	四
									五
									六
									七
									八
							歩		九

持駒 桂歩

■ 23-06 神無三郎 協力詰 41 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
					金		科		六
歩	歩	歩	歩	桂	歩				七
							桂		八
				桂	王	角			九

持駒 なし

Onsite Fairy Mate 第 159 回出題

開催日 : 2010 年 5 月 16 日 (日)  
 解答締切 : 2010 年 6 月 5 日 (土)  
 解答発表 : 2010 年 6 月 6 日 (日)

神無七郎 作  
 Messigny 協力詰 73 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
と	と	と	と	と	と	と	と	と	六
歩	歩	歩	桂	歩	歩	歩	歩	歩	七
							歩	角	八
銀		香	香	香		香		王	九

持駒 歩

【ルール説明】

協力詰 (=ばか詰)

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

Messigny

盤上に置かれている双方の同種の駒 (玉を含む。成駒は別種の駒として区別する) は 1 手でその位置を交換することができる。交換する時に駒を裏返すことは出来ない。

本作の解答を管理人宛

(janacek789@ybb.ne.jp) に E-mail でお送り下さい。

解答締切 : 2010 年 6 月 5 日 (土)

解答発表 : 2010 年 6 月 6 日 (日)

## 【コメント】

今月の初めに「コンピュータ将棋選手権」が行われました。優勝は本命の「激指」でしたが、300台以上のPCを稼働させる超並列マシンや、ひたすら待機戦術で時間切れ勝ちを狙うソフトなど、今年もいろいろな出場者がいて面白かったです。コンピュータ将棋プログラムの話は第153回出題でもしましたが、今回はこのとき触れた「文殊」の採用した「合議制」についてもう少し考えてみましょう。

「文殊」は当初、単純多数決で指し手を決めていたのですが、なぜそれで元のプログラムより強くなるのでしょうか？一応の根拠は「文殊」の作者のグループによる以下の論文に示されています。

思考ゲームによる合議アルゴリズム  
～単純多数決の有効性について～

[http://homepage1.nifty.com/ta\\_ito/CSA/CSA-2009-07-gougi.pdf](http://homepage1.nifty.com/ta_ito/CSA/CSA-2009-07-gougi.pdf)

例えば0.6の確率で正解を出す人が3人集まって多数決を取ったとき、その結論が正解となる確率は約0.65。つまり単独で決めるより良い答えとなるわけです。「三人寄れば文殊の知恵」の格言通りですが、この言葉は単純でない合議（皆で持ち寄った答えのうち最良のものを選ぶような方法）を想定していると思われる。単純な多数決でさえ単独より良い答えを出せるというのは、ある意味驚きですね。

でも、ちょっと待ってください。上の例で集まった3人の正解確率を0.4としたらどうなるでしょう？

この場合、多数決の正解確率は約0.35となり、残念ながら単独の正解確率より低くなってしまいます。これは多数決という方式の罠ですね。集団で何かを決めるときに、半々以上の確信を持つ人が誰もいなかったら、単純な多数決は避けたほうが良いでしょう。上に紹介した論文でも、多数決がうまくいくかどうかの分水嶺が正解確率0.5にあることがグラフで示されています。

さて、ここまでは集まった人々の正解確率が全

員同じ場合の話でした。でも正解確率にバラツキがあるとどうでしょう？ 極端な話、正解確率1の「神」が一人いて残りの「人」が正解確率1未満だと、多数決は正解確率を減らすだけです。

では、優秀な人が一人いればそれで充分なのでしょうか？

具体的な例で確かめてみましょう。賢者（正解確率0.6）1人と小賢者（正解確率0.55）2人が多数決を取ったとします。すると多数決の結論が正解となる確率は0.5995。残念ながら賢者1人より悪い確率になってしまいました。

やっぱり、優秀な人が一人いればそれで充分？ いえいえ、そうではないのです。

今度は小賢者の正解確率を先ほどよりほんの少し高い0.551に設定しましょう。すると多数決の結論が正解となる確率は約0.6005。賢者1人の確率を上回りました！ どのような場合に多数決が有効か一般化するのには私の力量を越えますが、上記のような賢者1人と小賢者2人の例ならば、多数決が有効な条件を二次不等式で表せるので、それほど難しくありません。もしかしたら中学校の数学の演習問題に使えるかもしれませんね。

ちなみに上の議論には重要な前提があります。成員が各々独立に答えを出すということです。集まった人達が日和見主義者ばかりで誰かの意見に右へ倣えだと、多数決だろうが何だろうが一個人の結論と変わりなくなってしまいます。他人の意見に流されず自分の意思をきちんと持つことは、その個人だけでなく、集団にとっても重要というわけです。詰将棋の世界で「多数決」が登場するのは賞を決める時ぐらいいですが、投票や選考を行う人も自分の選んだ作と他の人が選んだ作が異なっても気にしないことが大切、と言えるかもしれません。

さて、今回は本サイトでは初登場となる

Messigny ルールの作品です。いつもなら新しいルールの場合はその説明にスペースを割くのですが、このルールはWFP22号でも登場したばかりですので、今回は説明は省略させて戴きます。詰上り位置を暗示する配置もあるので、それほど難解ではないと思います。

(担当：神無七郎)

推理将棋第33回出題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第33回出題です。はじめての方は  
どんな将棋だったの? - 推理将棋入門

([http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post\\_53f2.html](http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html)) をごらんください。

解答、感想はメールで2010年5月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第33回解答」でお願いします。

推理将棋第33回出題 担当 タラパパ

自作はすでにコンピュータで全手順が解明されている8手問題。条件はオリジナルでも、手順は推理将棋初期に既に発見されているもの。

「いちご白書」は、私と同じ団塊の世代の頃の映画のタイトルですが、ユーミン作詞作曲で、ばんばひろふみが歌う「いちご白書をもう一度」のほうがずっと有名ですね。題名はもちろん「15白書」って洒落。

「飛車冠」は、なんととっても設定条件が抜群に秀逸!

例によって、中級と上級の難度は逆かもしれません。

33-1 初級 タラパパ作  
束縛の飛車 8手

3手目で飛車を束縛できる場所は3ヶ所。正しい場所はどこ?

33-2 中級 けいたんさん作  
いちご白書 11手

後手が指した、意外な角打ちの場所が閃くでしょうか?

33-3 上級 DD++さん作  
飛車冠 12手

初手と2手目は絶対。手順の多くが同じ「ある筋」の手です。

33-1 初級 タラパパ作  
束縛の飛車 8手

弟子「師匠、どうして8手で詰まされちゃった

んでしょう?」

弟子「駒成のない淡白な将棋は得意なのに」  
師匠「どうしてもこうしても、3手指し終わった局面見てみなさい」

師匠「君の飛車、どこにも動けないじゃないか。これで勝てるわけがなからうよ」

(条件)

- ・ 8手で詰んだ
- ・ 3手指し終えたら先手の飛車は動けなくなった
- ・ 駒を成る手はなかった

33-2 中級 けいたんさん作  
いちご白書 11手

「さっきの将棋11手で詰んだんだって。1筋と5筋に角打ちがあったよね」

「ああ、成る手はなかったよ。それから先手は奇数筋の着手しか指さなかったな」

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 1筋と5筋に角打ちあり
- ・ 成る手なし
- ・ 先手は奇数筋の着手しか指さない

さて、どんな将棋でしょう? 推理してくださいね。

33-3 上級 DD++さん作  
飛車冠 12手

「昨日将棋で12手で勝ったんだ」

「圧勝だね。勝因は?」

「最初も最後まで玉頭の飛の手を指したことかな。」

「へえ、じゃあ相手の敗因は?」

「最初も最後まで玉頭の飛の手を指したことかな。」

「え?」

(条件)

- ・ 12手で詰んだ
- ・ 2人とも、最初も最後まで玉頭の飛の手

※ 飛の手とは、「棋譜に飛の文字が入る手」を意味とします。「○○飛」「○○飛不成」「○○飛成」「○○飛右」など。「○○龍」はNG。玉頭とは自玉・相手玉を問わず、玉のすぐ上のマス(59玉なら58地点)のこと。

～1手詰?コンクール～ 出題

担当：神無七郎

WFP21号で募集しました「1手詰?コンクール」。おかげさまで4人の方から応募をいただきました。

課題の内容は「無駄合を考慮に入れると1手詰だが、すべて有効合とすると手数になるべく長くなる作品を作れ」というもので、

【課題A】間接両王手・間接開き王手の無駄合

【課題B】原形復帰型無駄合

の2つの分野に分かれています。今回の出題作品数は課題A 3作、課題B 1作です。

解答される際は各作品について、

- 1)無駄合を考慮した場合の手順
- 2)すべて有効合としたときの手順

の両方をお答えください。2)については駒余りなどに関係なく攻方最短・受方最長の手順を解答してください。作品の並びは手数順ではなく投稿順ですので、変別解には要注意です。課題Aにも課題Bの要素が入っていたり、長手数以外の狙いがあったりしますので、短評・長評・考察等も大いに歓迎します。

解答締切：2010年6月15日（火）

送り先：神無七郎（janacek789@ybb.ne.jp）

- ※ 評点等は不要。短評歓迎です。
- ※ 本課題の詳細についてはWFP21号の当該記事をご覧ください

【課題A】

第1番 渡辺秀行氏作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							将		四
				歩	飛	歩	飛		五
						歩	角		六
							王		七
						玉	?		八
							?		九

持駒 なし

第2番 たくぼん氏作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							将		一
								皇	二
						歩	皇	将	三
								王	四
飛							歩		五
									六
							桂	桂	七
									八
			角					香	九

持駒 なし

第3番 NAO氏作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							銀	将	五
						玉	将	角	六
						飛	角	王	七
							遊		八
							香		九

持駒 香

【課題B】

第1番 志賀友哉氏作

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
						飛			二
									三
								角	四
						歩	銀	将	皇
							王		六
					桂	飛			七
			と	?		角	玉		八
									九

持駒 なし

## 第 21 回 WFP 作品展結果 担当 紅月花煉

---

原稿未着につき到着後追加をアップします。

# Onsite Fairy Mate 第158回出題解答

開催日 : 2010年 4月 19日(月)  
 解答発表 : 2010年 5月 8日(日)

神無七郎 作  
 PWC協力詰 107手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					皇				一
		歩			皇				二
					継				三
		手			皇				四
			継			桂	桂		五
				王		王	爵		六
					桂	桂	爵		七
				要	歩	要			八
				要	要				九

持駒 角

【ルール説明】

協力詰 (=ばか詰)

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

PWC

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。ただし二歩や行き所のない駒は復元せず、取った方の持駒となる。

【手順】

63角 45飛 同角成 /63飛 37玉 /36桂 55馬 36玉 /37桂 54馬 37玉 /36桂 64馬 48玉 /37歩 75馬 66飛 同馬 /75飛 37玉 /48歩 55馬 36玉 /37桂 54馬 37玉 /36桂 64馬 36玉 /37桂 63馬 37玉 /36桂 73馬 55飛 同馬 /73飛 36玉 /37桂 54馬

37玉 /36桂 64馬 36玉 /37桂 63馬 37玉 /36桂 73馬 /63飛 48玉 /37歩 84馬 66飛 同馬 /84飛 37玉 /48歩 55馬 36玉 /37桂 54馬 37玉 /36桂 64馬 36玉 /37桂 63馬 同飛 /43馬 54馬 37玉 /36桂 64馬 48玉 /37歩 75馬 66飛 同馬 /75飛 37玉 /48歩 55馬 36玉 /37桂 54馬 37玉 /36桂 64馬 36玉 /37桂 63馬 37玉 /36桂 73馬 55飛 同馬 /73飛 36玉 /37桂 54馬 37玉 /36桂 64馬 36玉 /37桂 63馬 45香 同馬 /63香 37玉 /36桂 55馬 36玉 /37桂 54馬 37玉 /36桂 64馬 48玉 /37歩 75馬 66香 同馬 /75香 37玉 /48歩 55馬 36玉 /37桂 54馬 37玉 /36桂 64馬 36玉 /37桂 63馬 45香 同馬 /63香 37玉 /36桂 63馬 /64香 45香 同馬 /63香 37玉 /36桂 55馬 36玉 /37桂 46馬 まで107手

神無七郎 作  
 PWC協力詰 107手 (詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
		歩							二
		継	皇						三
	継	手	皇						四
		皇				桂	桂		五
				王	馬	王	爵		六
					桂	桂	爵		七
				要	歩	要			八
				要	要				九

持駒 なし

【解説】

まずは初形を見てください。4筋に香が並んでいます(途中に飛が混じっていますけど...)。この利きが消えれば簡単に詰ますことができるので、並んだ香を順次はがしていきたいのです

が、残念ながらルールはPWC。そう簡単に駒は消えてくれないので、ばがす代わりに邪魔にならない所にどいてもらいます。

キルケ系のルールでは「消去」の代わりに「待避」を用いることがあり、筆者もしばしばこのネタを使っています。ルールは少し違いますが、第5回アンチキルケばか詰作品展に発表した作品などは最も分かり易い例のひとつでしょう。

(参考図：第5回アンチキルケばか詰作品展より)

神無七郎／2006年2月1日  
アンチキルケばか詰 57手

									一
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	王	王	二
金	金	金	金	金	金	金	金	金	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金2歩9

ただ、今まで自分が発表した作にはちょっと物足りない点がありました。「待避先」が割と直線的で、どこにどうやって片付けるかということが自明なことが多いように感じていたのです。本作も当初は馬鋸の進行方向がそのまま待避先になっていたもので、物足りなさを感じていました。そこで工夫したのが馬鋸の筋に別の軌道を付け加えることでした。馬鋸の筋を二重にすればおそらくもっと複雑な機構ができると思いますが、本作のように片道で帰ってくることしかできない軌道を付け加えるだけでも、予想以上に複雑な待避機構ができあがりました。

馬鋸の馬が一旦軌道を外れて別の役割を果たし、また軌道に戻ってくる仕組みは普通詰将棋でも大きな成果を挙げていますし、これからも研究と発展が期待されます。この作品自体は最初の飛の待避の仕方さえ分かれば、あとはその一部を使って残りの全部を待避できるので割と易しかったと思いますが、いろいろなルールと組み合わせられるフェアリーでは、多重軌道を使った高度な機構がまったく手付かずに残っているように思います。

【正解者及びコメント】 (正解5名：到着順)

市村道生さん

3ヶ月連続した難解作から、今月は軽趣向作。何か、長期の旅行から、久しぶりに懐かしの我が家に帰って落ち着いたような気分です。後続の邪魔にならないよう、順次、奥の場所から整理して行く趣向ですが、その方法が実に巧妙で、最初の飛車などは、何と9回の移動でやっと目的地に移す事となります。PWCのルールを最高に駆使した手順で、楽しく推理しながら解けるパズルの傑作です。

☆ このところの難解作連発には、さすがの市村さんも辟易されていましたか。本サイトでの基本的な出題方針は「良さそうなものから先に出す」なので、時には難解作が続くこともあるのですが、特にここ2回は例外的な難しさだったと思います。多分、本作くらいの難度が本サイトの「難問」の標準的なレベルではないかと思います。

若林さん

玉の可動範囲が3ヶ所で、持ち駒角。4筋の掃除という目的がはっきりしていて手がつけやすかったです。はがし趣向ならぬずらし趣向と言ったところでしょうか。気持ちよく変速馬鋸が楽しめました。7筋の一見ゆるやかな卒が見事です。

\*

解図中は合駒は一切読みませんでしたが、金があると4筋に角を運んで封鎖できるのですね (fmで確認)。これが銀(縦横方向への移動が直進のみ)ではできないのが綺麗ですね。

156回のPWCは解くため=45桂を消去するためキーが全く見えず、投了。

前回の作品は4筋突破が鍵なのは分かって、そのための配置自体見つけられませんでした。どうも（特に）PWCにおいて、ある目的を達成するために必要な配置がある程度複雑になると見つけられなくなるようです。

☆ 若林さんは下段の金配置に言及されていますが、正に仰る通り。「と金」ではなく「金」になっているのは余詰対策です。こういう所に気付いて貰えるのは嬉しいですね。

ただ、時には気付いて貰うと困る場合もあります。それはもっとスマートな解決方法があるのに、下手な方法で余詰防ぎなどをしてしまった時です。本作も「本当はもっと良い対策があるのでは…」という疑念が拭えないので多少不安は残っています。

### 渡辺さん

今度は倉庫番ですね。荷物（飛香）を奥から順に詰めて行きます。

（手前）63 → 66 → 75 → 73 → 84（奥）の順。

ただし75を詰めた後は66は無理なので代りに64に詰めます。

気付いてみれば簡単なのですが、歩が稼げるループが何通りもあってこれが作意と無関係であることに気付くまで、どうやって歩を打つ場所を作るのか思案してはまっていました。

No.156を解いていなければ歩を取る手に惑わされずに済んだのですが…。

☆ 「倉庫番」はこの種の趣向にはピッタリの言葉ですね。駒を運搬するのが主題の詰将棋はこれからは倉庫番趣向と呼ぶことにしましょう。

あるいは新しいルールとして「倉庫番」を使うことができるかもしれません。移動先にある駒を1個だけ進行方向に動かせるルールとか…誰かやりませんか？

### たくぼんさん

4筋の邪魔な駒を移動させることはすぐに分かるが、しばらくは48歩が取れることに気付かず一悩み。

取れる事に気付くと面白いようにストーリーが見えてきた。

倉庫に邪魔な物を片付けるそんな作品ですね。面白かったです。

☆ たくぼんさんも「倉庫番」を連想されたみたいですね。やはりこの種の作の呼称は倉庫番趣向で決まりでしょうか。鳥が枝を運んで巣を作るのにも似ているので、営巣趣向と呼ぶのも良いかもしれません。

48歩の配置は一種の「可動式の壁」。48玉の形のときは37に馬が入るのを防ぎ、37玉の形のときは48に馬が入るのを防いでいます。37桂もそうですが、こうして「動く邪魔駒」を置くのはPWC作図の上で重要なテクニックです。

### 瘋癲老人さん

1枚目の飛車を84にもっていきまでが大変。最初は73で一息ついたので最後の香が5筋に来て失敗しました。

荷物運びパズルみたいで面白いと思います。

☆ 73に飛車を運んで一服。残りの飛香を運ぼうとして場所が足りないことに気付き、最初に戻ってもう一回。今回、正解された方々もこのパターンは多かったのではないのでしょうか。

本家「倉庫番」と異なり格納場所を明示する必要がないのは、詰将棋の良いところですね。

☆ 花粉の季節もそろそろ終わりと喜んでいたら、5月になって急に暑くなり、少し体調を崩していました。まだWFP作品展も（難物っぽい）2問を残しているの、ちょっとピンチです。これから気合を入れて頑張ります。

次回の出題は「氾濫32」に合わせて「自分の利がない場所に駒が動くことがある」ルールの作にしようと思っているのですが、具体的に何を出题するかは未定です。

また、「1手詰？コンクール」もそろそろ募集締め切りです。投稿宜しくお願いします。

（2010.5.9 七郎）

# 詰将棋メモ

## 推理将棋第 32 回出題解答

担当 タラパパ

出題日 : 2010年 4月 4日  
 解答締切 : 2010年 4月 20日

### 32・1 中級 ミニベロさん作 三捨利警部の推理 主犯は誰だ 11手

「警部、今度の 11 手詰事件は、小駒の成駒による連続王手です」  
 「2 手目は分かるかね」  
 「はい、4 筋の手であることは判明しています」  
 「なるほど、主犯は分かった。もしかしたら新しい手口かもしれないよ」

(条件)

- ・ 11 手で詰んだ
- ・ 小駒の成駒による連続王手があった
- ・ 2 手目は 4 筋の手

※すでに成っている小駒による連続王手です。

#### 出題のことば (担当 タラパパ)

相手の駒を取って打つ余裕はありません。

#### 追加ヒント:

先手が成った小駒は、自陣から出て行った桂か歩。

#### 推理将棋第 32 回解説 担当 タラパパ

今月の 3 局はいずれも、推理将棋の古典になるかもしれません。  
 ミニベロさん作は、なんとと言っても手順・詰上がりの美しさ。  
 DD++さんの 2 局は、同じ会話で「手数が違う 2 局」を成り立たせた、歴史的なツイン作品と

して (mixi出題の原案) 残ることでしょう。

#### 推理将棋 32・1 解答

▲7六歩、▽4二玉、▲7七桂、▽5四歩、  
 ▲8五桂、▽5三玉、▲7三桂成、▽6四玉、  
 ▲7四成桂、▽6五玉、▲7五成桂 まで 11 手

詰上がり図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	
二		飛						角		
三	歩	歩		歩		歩	歩	歩	歩	
四					歩					
五			圭	王						
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八		角						飛		
九	香		銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩

77 から出て行った桂馬が、成桂となって、初手に突いた 76 歩頭に鎮座するまでの小旅行。先手の角桂歩が好連携し、後手の 54 歩まで幸便に退路を塞ぐ詰上がり図の美しさは言葉になりません。

桂をテーマとした名局には、当コーナー 2008 年出題「17-3 駒の活用 11 手 (魚熊さん作)」がありますが、この作品と共に、恐らく推理将棋の古典の一つとして歴史に残るのではないのでしょうか。

先手は 7 手目に小駒を成って、王手で 2 度動かさねばなりません。成駒が取って打った小駒なら、3 手目に取らねばならず不可能 (5 手目に歩は打てない)。自陣から出て行って 7 手目に成れる小駒は、桂か歩しかないことが分かります。

最終空き王手が考えにくいとすれば、詰上がり、何らかの駒で小駒成駒にヒモがついていま

す。その駒は普通に考えると飛香のどれか。

成駒は歩が有力と思いがちですが、13、23、93に成ったと金が連続王手で詰ませる順はありません。なぜなら、例えば「22と」は「21と」の利きを完全に包含してしまうので、と金は縦・縦とは動けません。また42玉に対して、33と～22とのような動きも、玉が32に戻る手を防げないからです。

2手目「4筋の手」は右で詰みそうに思わせ、飛頭の歩に注目させる効果があるかもしれませんが、いかに早く、こうした歩の呪縛から逃げられるかが解図上の勝負でした。

**DD++** 「なかなか解けないので7手目に小駒の成駒を作る先手手順27通りを虱潰ししました。しかし、53以外の桂成は経路が特定できないだろうと思って後回しにした結果、解答までに大きく迂回。完全にやられました。4筋と聞いて意識を右側に振られることもあり、小駒の成駒を1回動かす9手詰（26歩、42玉、25歩、32玉、24歩、42銀、23歩成、31玉、22と）をベースにどうにかしたくなるのが大きな罠ですね。」

■答案を拝見すると、この問題が一番難しかった模様。素直に上級とし、ツインを初中級に据えるのが正解でした（汗）

**リーグ戦ファン** 「私の大好きな婦警（歩桂）詰め。44成桂まで、なんて脳内で考えてしばらく転がしてましたが、ミニベロさんだったら初手の歩も活かそうとするはず、とひらめいたら、すぐに答がありました。ちょうど▽53玉とタイミングが合って、桂の跳ね先が限定されるところに強運を感じます。」

■どうせ駐車違反とられるなら、美人婦警さんのほうがいいですよねぇ・・・って、何の話？

**はらたつと** 「小駒の成駒は桂か歩しか考えられず（取って打つヒマはない）第一感「桂」か。成駒にヒモをつけることを考えると角筋では「33」「44」「55」のどの地点にもムリなので、角筋で玉の退路を塞いで詰め上がり地点は「65」だな。とヒラメキました。」

■飛車筋をぜんぜん考えないとはズルい（笑）

**斧間徳子** 「本作、なかなか解けずに随分悩みました。85桂とソッポに跳ねる味が抜群。傑作。」

■ソッポの桂がうまいこと限定してしまうんですね。

**はなさかしろう** 「2筋のと金がうまくいかないで89の桂を跳ねて行くのですが、角との連携が33、44、55とうまくいかず、そういえば75もあるか、と。53玉のタイミングの関係で桂のルートが決まるのが良い味でした。」

■65桂では53から玉が出て来られない。85桂が自動的に決まるのが味。

**渡辺** 「”2手目は4筋”がミニベロさんらしい巧い条件。私だと”玉頭の歩を突いた”として詰み形を明かしてしまいそうです。おかげで10手で35金まで詰める筋を知らない人にとってはかなり気付きにくいと思います。歩成が駄目だといつ見切りをつけるかがポイント。」

■4筋条件は解答者の眼を右に向ける役割もあり、流石の巧みさでした。

**平井康雄** 「今のところお手上げです。7手で歩か桂を成り込ませることは可能ですが、それを後2回王手で動かして詰め上げるんですね？支えの駒は当然角か飛なんでしょうね？どうやっても詰み上がり形すら見当つきません。」

■平井さんは、言わずと知れた詰パラ大学担当者。これは第一便の声。推理将棋はほぼ初挑戦だそうです。ありがたいですねえ。

**平井康雄** 「7手目で成れる小駒は歩か桂しかないのは容易にわかるのですが、詰上がり形の想定がなかなかできませんでした。また、桂が成る位置は53でなければ桂の軌跡が限定できないはずだ、と一旦思い込んでしまうとそこから抜け出すのが困難になります。85桂が想定外の1手でした。」

■第二便できっちり軌道修正。”桂の軌跡が限定できないはず”この思い込みは、他の解答者の皆さんにも共通の罠になった模様です。

たくぼん 「『初級の初めに出题されているので、26～23歩成と誰しも思うよね～。しかも2手目42玉だし、どう考えても上級でしょこりゃ。』と書いたがよく見たら1番だけ中級だった(笑)でも難しかったよ」

■上級でよかったようです(^^;

○術師 「成小駒を2手引くのは予想がついたのですが、その場所がすぐには分からず...長期間放置してから再度解いたらすぐでした。85限定がスパイスですね。」

■推理将棋でも冷却期間をとるのは有効。

S.Kimura 「最後まで分からなかったのがこの問題です。最後に成桂を角の効きに置くとばかり思っていたのが失敗でした。桂馬が85と65に行けるので、73桂成を読みづらくしていたのもうまいですね。」

■76歩の利きに持っていく手順に気付いた作者の勝ちですね。

superkuppabros 「飛車先の歩だと思ったのですが・・・全然分かりません。」

■きっちり紛れにハマりましたね(笑)

諏訪冬葉 「今回一番苦労しました。9、11手目に成駒で連続王手だから最終手にはひもがついていけないといけない→飛車か香車の先と勝手に思い込んでいたら76歩があった。」

■予想以上に飛車先の紛れが強かったようでした。

はてるま 「85桂が限定されているのがうますぎます。11手で難しすぎずエレガント、こういうのは貴重ですね。」

■はい、85桂限定はとて”美味しい”と思います。

正解：13名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん 諏訪冬葉さん  
たくぼんさん DD++さん はてるまさん  
はなさかしろうさん はらたつとさん  
平井康雄さん ○術師さん ミニベロさん  
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

### 32-2 初級 DD++さん作

#### 両隣の将棋(1)

9手

「隣の将棋、あつという間に詰んだね」  
「先手が指したのは1枚の歩を4回動かしたのと、飛の手1回だけか」  
「その飛の手直後の7筋の手はびっくりしたよ」  
「4手目の5筋の手も興味深い手だ」  
「この短手数なのに成る手が2回もあったんだね」  
「9手で勝った先手は気分よかったですね」  
「え、後手が10手で勝ってなかった？」  
「あれ、もしかしてそっち側の隣の話してたのか」

どうやら、両隣の全く別手順の将棋を見ながらも会話が成立していたようです。

両隣の将棋はどういう将棋とどういう将棋だったのでしょうか。

(条件)

- ・ 9手で詰み
- ・ 先手の着手は同じ歩の手4回と、飛の手1回のみ
- ・ 先手の飛の手直後に後手は7筋の手を指した
- ・ 4手目は5筋の手
- ・ 成る手が2回あった

### 出題のことば(担当 タラパパ)

止めは成る手のようです。

#### 追加ヒント:

成った駒は歩と角。

推理将棋 32-2 解答 担当 タラパパ

▲6六歩、▽6二玉、▲6五歩、▽5一金左、▲6四歩、▽3四歩、▲6八飛、▽7七角成、▲6三步成 まで9手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	王		銀	桂	香	一
	飛		玉						二
歩	歩	歩	と	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
									六
歩	歩	銀		歩	歩	歩	歩	歩	七
	角		飛						八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

32-2と32-3のオリジナル案は次の内容。まったく同じ条件で手数異なる2手順と、オリジナリティ溢れる初の試みでした。

「隣の将棋、あつという間に詰んだね」

「先手が指したのは1枚の歩を4回ついたのと、飛の手1回だけか」

「その飛の手直後の7筋の手はびっくりしたよ」

「4手目の5筋の手も興味深い手だ」

「この短手数なのに成る手が2回もあったんだね」

「ところで、どこ見てるんだい」

「打ち終わった隣の将棋だよ」

「俺はこっち側の隣の将棋の話してたんだけど」

どうやら、全く別手順の将棋を見ながらも会話が成立していたようです。

両隣の将棋はどういう将棋とどういいう将棋だったのでしょか。

mixiの原案は問題文に先手の指した手数は書かれていますが、何手で詰んだかの記述はありません。

ここがミソです。飛車が1回動いて、同じ歩を4回突く条件で、先手が詰むとは思えず、32-2の9手が比較的容易に見つかるため、解答

者はもう一局も9手と思い込んでしまう。蓋を開ければ実は9手と10手だったという意外性。う～ん、巧妙ですねえ。

今回の出題では解き易く、手数が明かされています。

1枚の歩を4回突いて、飛車を1回動かす条件では、先手が駒を成るとして歩成1度が限度。では後手は4手で何枚成れるでしょう？先手の指す5手は、後手の駒成を一切アシストしていません。つまり後手が成るチャンスも一度だけ。

先手の駒成は歩が必然で、三段目の歩成で詰ませる。それには、二段目の後手玉が一段目に逃げられないことが必要。後手の手が「玉が上がる」「一段目を埋める」「残りの2手で駒が成る」ことになると、34歩～77角成が絶対。

77角成は王手ですから、先手は68飛と振る筈。以上のことを総合してやれば、作意は論理的に見つかると思います。

**DD++** 「採用ありがとうございます。2手順両方で全条件が必要条件となるようにした結果、ややわかりにくい条件となってしまいました。9手の方は無駄手が存在する上に24-1のまささん作によく似た手順と、こちらだけ見ると反省点もある出題だったかもしれませぬ。精進します。」

■77角成は、単に詰める目的だけなら無駄手ですが、これがあつてはじめて6筋に限定できる。単独作品として類似手順が存在することもネックではありませんから、私の見る限り、反省点らしきものは何も見当たりませんが(^^)

**リーグ戦ファン** 「この問題は秒殺。無駄手処理のはずの「成2回」によって飛車の位置を6筋に決められたところが格好いいです。」

■ですよね。

**はらたつと** 「本手順はあまり難しくなく、32-3とセットだからこそこの問題といった印象を受けました。」

■本問単独の手順は”よくある手順”ですから、おっしゃる通りだと思います。しかしセットすることで新構想。

**斧間徳子** 「○三步成以外の成駒は77角成で

はないかと考えたら、すぐ解けました。」

■決め打ちがハマると、簡単に解けることがあります。よかった(^^)

**はなさかしろう** 「攻守ところを変えて見るとするのは斬新。確かに32-3と似ています。原案の手数を隠した出題形式というのがどういものだったのか見てみたいです」

■はじめから原案も公開するつもりでした。

**渡辺** 「これは頻出の形。ほぼ一目でした。詰み形が明かなので易しいと思います。」

■いわゆる”使える手順”ですから。

**平井康雄** 「問題文から飛先の歩が成って詰みというのは明らかで、後はどの筋の歩をつくかの問題となる。もう1枚の成駒は玉方角以外ありえないので、それを77角成とするなら、68飛も必然となる。ということで、ここまで分かり易いのは初心者向けでいいですね。」

■はい、初級にはこうして論理で簡単に解ける問題が理想です。

**たくぼん** 「7筋の手が77角成というのは予想外でした。」

■裏読み専門のたくぼんさんらしい感想。77角成はもっとも自然なのに。

**竹野龍騎** 「すぐに解けてほっとした。問題は次ですね。」

■単独問題としての真打は次の問題。ですが、組局としては2題とも真打。

**○術師** 「手順は飛車振ってその筋に歩成までしかないのですが、細かい条件が見事に働いて飛車を振る位置が決まるのに感心しました。」

■例えば”5筋の手”を省くと51金左で、72玉と寄る手があるなど、不要な条件がないところに感心します。

**S.Kimura** 「これぐらい易しい問題が毎回あると助かりますね。」

■そう心がけたいのですが、なかなかです。

**superkuppabros** 「6筋であることに気づけば後は楽にできました。」

■飛車を振って、飛車先の歩が伸びるのが明らかなので、”どの筋か”が問題ですものね。

**諏訪冬葉** 「歩が4歩進んで詰みなら例の手しれない。あとは成りの回数と歩を進める列を調節。」

■飛車と歩の順番が限定されることにも、ぜひご注目を。

**ミニベロ** 「Normanさんの名作順ですね。」

■あの10手は難しかった。

**はてるま** 「最初は62玉型で先手58飛と回って後手が72飛と寄るのかと思いましたが、成の数が足りませんでした。後手に成りが1回入るとすれば77角成、とすれば68飛と回る形が見えてきます。かなりクリアカットに割り切れるので初心者にも良問かと。」

■ははあん、最初は7筋の手も無駄手と考えられた訳ですね。

正解：15名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん  
superkuppabrosさん 諏訪冬葉さん  
たくぼんさん 竹野龍騎さん DD++さん  
はてるまさん はなさかしろうさん  
はらたつとさん 平井康雄さん ○術師さん  
ミニベロさん リーグ戦ファンさん 渡辺さん

### 32-3 上級 DD++さん作 両隣の将棋(2) 10手

初級と同じ会話

(条件)

- ・ 10手で詰み
- ・ 先手の着手は同じ歩の手4回と、飛の手1回のみ
- ・ 先手の飛の手直後に後手は7筋の手を指し

- た
- ・ 4手目は5筋の手
- ・ 成る手が2回あった

**出題のことば (担当 タラパパ)**

居玉を詰ませる代表3手段は、金に働くか、桂で吊るすか、両王手。

**追加ヒント：**

先手の成った駒が取られました。

**推理将棋 32・3 解答 担当 タラパパ**

- ▲5六歩、▽3四歩、▲5五歩、▽5二飛、
- ▲5四歩、▽5五角、▲5三步成、▽同飛、
- ▲4八飛、▽7七角成 まで10手。

**詰上り図**

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	一
									二
歩	歩	歩	歩	飛	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
									六
歩	歩	歩	歩		歩	歩	歩	歩	七
	角				飛				八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

32-2の9手順が論理的に一意に導けるなら、手数が見えないことも明白なものです。ところが現実にはそうではありません。機械ならぬ人間の思考は、疑心暗鬼に捉われ、自分を疑い、揺れるものです。

さて手数が10手で、先手玉は居玉です。ヒントにも書きましたが、ごく特殊な詰上がりを除いて、居玉を詰ませるには「金に働く」「桂で吊るす」「両王手で詰ませる」しかありません。先手は金を動かしませんから「金に働く」は金を取ることに。

「4手目は5筋の手」が実に困った条件で、後

手が34歩と角道を開けるとしても、4手目に先手陣に入ることができません。「金に働く」「桂で吊るす」手段は消えて、残る手段は両王手しかありません。居玉を両王手で詰ませ、4手目が5筋なら、手段はひとつだけ。52飛と回り、55角が37角成又は77角成として詰ませる形。

先手の歩は三段目までしか伸ばせませんから、52飛で歩を払います。というわけで、本問も作意手順が論理的に導き出せます。

しかし、この両王手が10手でできるんですね。

**作者** 「原案(mixi743番)では、先手の手が計5回だけという条件があるのをいいことに手数を隠し、完全に同一の条件で先手勝ち手順と後手勝ち手順が1つずつできる、という趣向作品でした。ただ、手数を隠すとこちらの順を見つけるのはかなり難しいと思われたので、おもちゃ箱では手数を明かしてみました、いかがでしたでしょうか。」

■おもちゃ箱向けにありがたい反面、原案で出してみたかった気持ちもありました。でもかなり難しくなるでしょうね

**リーグ戦ファン** 「金付き居玉を詰ませるとなればこの筋でしょう。二間とも、山ほどある非限定(手順前後、成不成、左右同形、無駄手処理)を、わかりやすい同じ3条件でクリアしたのはさすがですね。馬鹿話ですが、32-3、「後手の手が歩・飛だけの9手詰」と、問題を脳内で変換してしまっていたので、全然違う解を送るところでした。(▲43桂ないし▲63桂までの吊るし桂)」

■52飛に桂吊るしですか。同じ脳内変換、意外にやってしまうんですよ。全条件を覚える代わりに急所だけ覚えようとした時。

**はらたつと** 「同条件で9手と10手というのに感心しました……。詰め上がり図は私も考えたことがあったので偶然ヒラメキましたが、条件付けが32-2とあわせて見事です。」

■同条件異手数は、詰将棋でいえば新手筋開発に匹敵する価値かと。

**斧間徳子** 「これも簡単でしたが、作者の原案どおり、手数を明かされなかったら、相当難し

そうですね。」

■飛車の手1回と、同じ歩を4回突いた先手が、10手で詰むなんて、第一感が拒否しそうですから難しいでしょう。

はなさかしろう 「この両王手は攻方6手、玉方3手と思い込んでいました。55角の空移動で10手の手順にできるのが意外で面白かったです。」

■同様にそう思い込んでいました。ですから、多くのベテラン勢には当たり前の詰上がりでも、私にとって意外な手順でした。

渡辺 「作者がmixi内で別の両王手作品（高坂氏の有名作品と同類の詰上がり）を出題した際に、「10手の両王手はあと3パターンあるよ」という話をしたのですが、それがこういう形になって出題されるとは思いもよりませんでした。欲を言うなら「2度の成」の駒を9手詰めとは異なる駒でやりたかったですね。」

■そんな裏話がありましたか。残る10手3パターンを探してみるのも一興かと。後半、同感ですが欲張り（笑）

平井康雄 「最後が77角成までの両王手と決めてしまえば後はほぼ必然的に決まりますね。上級というよりは初級向けじゃないですか？これはやっぱり2題セットで評価しないといけませんね。全く同じ4条件で、別の9手と10手が成立するというマジック。推理将棋初心者には感動物でした。」

■しょ、初級ですか！ 推理将棋は長い私ですが、同じように感動マジックでした。

たくぼん 「他の条件一緒に手数だけ違うというのは創るのが難しそうですね。お見事でした。」

■きっとたくさんあると思います。ただ、見つけるのは難しい。

竹野龍騎 「4回指す歩が詰みに関連するような手順を考えたら、両王手が閃いて解けました。手数違いで2題揃っているのは面白い。」

■”4回指す歩”は必然的に、途中で取ることができないことも意味するので、推理の上では強力な手助けですが。

○術師 「先手の歩4手が有効手となるためには後手の駒を働かせてあげないと・・・と考えたら、飛車を使うのが一番でした。詰み形を作るために一度影に入る気持ち悪い角が逆に感触良いです。」

■きっちり手数が足りるものと、私はそちらに感心しました。

S.Kimura 「ヒントから52飛が思い浮かびました。そして、冒頭に両王手と書いてあったのを思い出し、ようやく詰め上がりが分かりました。」

■実をいうとヒントは、論理的に容易に推理できることしか書いていません（^^；我ながら不親切なヒントです。

superkuppabros 「桂吊るしは明らかに手数が足りないため除外して考えたところ、両王手の手順が思い浮かびました。」

■少し考えると、両王手以外はまったくダメなのですが、それでもなかなか決め打てないもの。すぐ浮かびましたか？

諏訪冬葉 「出題コメントから両王手と決め打ちしました。」

■コメント、実は一般論に過ぎません。勘が鋭いんですね。

ミニベロ 「なるほど。同じ条件でできるんですね。」

■不思議ですよ。

はてるま 「5筋の歩をやり過ぎて、55角と途中下車するのがうまいですね。前問とは対照的な詰め上がりで、組問題としても相当な出来かも。」

■冒頭でも述べましたが、古典として残りそうな気がします。

正解：15名

S.Kimura さん 斧間徳子さん  
superkuppabros さん 諏訪冬葉さん

たくぼんさん 竹野龍騎さん DD++さん  
はてるまさん はなさかしろうさん  
はらたっとさん 平井康雄さん ○術師さん  
ミニベロさん リーグ戦ファンさん 渡辺さん

---

## 総評

**はらたっと** 「2、3月はバタバタしており（仕事の都合で引越しするハメになりました）ゆっくり推理将棋に取り組む余裕がありませんでした。今回は意外にも、3問ともスンナリ解けました。」

■それはお疲れ様でした。個人的に引越しは幾度も経験しているので、あの面倒さはよく判ります。

**はなさかしろう** 「松田圭市さん・安江久男さんの詰パラ推理将棋 2009 最優秀作も解いて爽快、ダイナミックな手順でした。案外論理が効くというのも推理将棋ならではですし、条件付けの技で二度楽しい問題でした。」

■そちらも解いてくださいましたか。兩名にとって『自分が創った』とは言えない創作経過の作品でしたが（汗）

**○術師** 「今夜はナイトー観戦のため帰宅後に送れるかどうか分からず、昼間のうちに送ります。もちろん、普段のように締め切り当日夜に解き終えるようなギリギリにならなかつたのが大きいのですが。どの問題もぼーっと条件見ていたら全く解ける気がしませんでした。真面目に？考えたらず案外あっさり解けました。

32-2、3は条件が多すぎて当初は抵抗感ありましたが、解いてみるとどれもきっちり利いてきたのでスッキリしました。両題ともに後手角が77に成るのが意外でした。」

■ナイトー観戦とは羨ましい。思えば半世紀ほどナイトー観戦していません。行きたいなあ～。

**ミニベロ** 「初級・上級は、どちらも詰手順そのものは推理将棋の初期に開発された順ですが、こうやって同じ条件のツインにすると、全くの新作ですね。これも推理将棋の可能性を広げるものです。」

■自分的には10手上級手順は知りませんでし

たが、全体として同感です。唸る発想でした。

---

推理将棋第32回出題全解答者： 15名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん  
superkuppabrosさん 諏訪冬葉さん  
たくぼんさん 竹野龍騎さん DD++さん  
はてるまさん はなさかしろうさん  
はらたっとさん 平井康雄さん ○術師さん  
ミニベロさん リーグ戦ファンさん 渡辺さん

当選： はらたっとさん

おめでとうございます。

# 妖精賞の系譜 (10)

## 第 14 回 妖精賞 (2001年)

この期も、読者投票による選考を行い投票者が6名。集計の結果妖精賞を決定した。

### 【短編部門】

詰将棋パラダイス 2001年5月号

加賀孝志 作

対面ばか自殺詰 6手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						科	王		一
									二
									三
									四
									五
					王				六
									七
									八
									九

持駒 角

13 角 24 飛 同角成 23 桂 42 飛 41 桂打  
迄 6手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					科	王			一
					飛				二
						科	馬		三
									四
									五
					王				六
									七
									八
									九

持駒 なし

柿久桂古 (妖精賞投票コメント)

各駒の特色が良く出ている。

### 解説 (筒井浩実)

二段目の飛に桂対という収束形は、最近よく作られるようになりました。4手目の応手を限定させるために31桂の配置があるのですが、この配置のために42飛、41桂の収束が見えにくくなったという効果があったようです。

### 佐藤善起

24馬、23桂が飛のあき王手で詰という詰上りを考えてやっとなげた。

### 駒井信久

31桂をヒントにすればよかったが、逆に詰上りのカムフラージュになってしまった。

★ 対駒によって飛と馬になっている桂だけの詰上りが見事。特に31桂配置が2手目限定と詰上りを見えにくくしている点で絶好の配置です。決してこれが無ければ双裸玉なのに…という配置ではないのです。私も今回答えを見ずに考えてみましたが詰上りがなかなか浮かばず時間が掛かりました。

### 【中編部門】

詰将棋パラダイス 2001年9月号

小林看空 作

ばか詰 39手 「虹姫」

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
	飛								二
						科			三
銀	角			科					四
金		歩	歩	金	金	歩		王	五
	ス	角	飛	香	歩	桂	桂		六
			桂				歩		七
歩		王	駒	歩				駒	八
駒					ス	香			九

持駒 香2

17 香 16 金 同香 同玉 17 金 25 玉 16 金  
36 玉 39 香 38 香 同香 37 桂 同香 47 玉  
39 桂 同と 49 香 48 歩 同香 58 玉 59 歩

57 玉 58 歩 66 玉 74 歩 75 飛 同角 76 玉  
 85 銀 同と 96 飛 86 角 同飛 同と 94 角  
 85 銀 同角 同と 87 銀 まで 39 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
	歩								二
						歩			三
		歩		歩					四
金	ス	角	歩	金	金	歩			五
		王		香	歩		桂	金	六
	銀		桂			香	歩		七
歩		王	歩	香				歩	八
歩						ス	香		九

持駒 なし

**天津包子（妖精賞投票コメント）**

七種合にビックリ。

**作者**

「橋姫」より2手短い七種合です。できるだけ成駒を少なくしました。

**片岩裕貴（担当）**

常に玉方の持駒は歩+2枚以内で、歩以外の駒はすぐに合駒として使われてしまいます。4手目と14手目取るか逃げるか迷うくらいで、それ以外はほとんど必然手に近いと思います。

**藤岡靖朝**

大変分かり易い7種合。適度に易しい小アクセントを含んで初心者にも取り組んで欲しい中編趣向物。こういう作品に数多く当たることが長編作品攻略につながると思います。

★ 解くのは簡単なのですが、七種合を短手数で表現する手腕はさすがですね。機械的ではなく人間的な感じのする手順です。それはそうと普通詰将棋では可能なダブル七種合はばか詰では出来るのでしょうか？まあここへ書いておけばどなたかが挑戦してくれると思いますが…（笑）

**【長編部門】**

詰将棋パラダイス 2001年2月号  
 加賀孝志 作 対面ばか自殺詰 62手  
 「夕焼け小焼け」

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						と			一
							と	王	二
									三
							と		四
									五
								ス	六
									七
歩									八
	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	王	九

持駒 歩2

29 歩 同玉 19 歩 39 玉 29 歩 49 玉 39 歩  
 59 玉 49 歩 69 玉 59 歩 79 玉 69 歩 89 玉  
 79 歩 98 玉 89 歩 87 玉 88 歩 同玉 79 歩  
 77 玉 78 歩 同玉 69 歩 67 玉 68 歩 同玉  
 59 歩 57 玉 58 歩 同玉 49 歩 47 玉 48 歩  
 同玉 39 歩 37 玉 38 歩 同玉 29 歩 27 玉  
 28 歩 同玉 19 歩 17 玉 18 歩 同玉 29 銀  
 28 飛 19 銀 27 玉 28 銀 16 玉 27 銀 15 玉  
 55 飛 54 角 19 飛 24 玉 14 飛 13 桂 まで  
 62 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						と			一
							と	王	二
								歩	三
						歩		王	四
									五
							ス		六
								銀	七
歩									八
									九

持駒 なし

**柿久桂古（妖精賞投票コメント）**

収束意表の手順。

## 作品募集締切一覧

### 第8回詰四会フェアリー作品展

課題：桂が頑張っているフェアリー作品

投稿締切

2010年08月22日

(投稿先)

→たくぼん (takuji@dokidoki.ne.jp)

\*\*\*\*\*

#### 【お詫び】

先月号解決編掲載の「秘密文書」は内容が余詰で、成立していませんでした。3手目までは同じという条件が必要でした。お詫び致します。修正は、文書内に「散歩は同じ道」（散歩→3歩→最初の三手）書き足しと苦し紛れではありますがしておきます。

たくぼん

## あとがき

紅月さんになにかトラブルがあったようで発行が遅れてしまいました。お詫びいたします。

たくぼん

### 解説（筒井浩実）

盤に並べて確認して頂ければわかると思いますが、銀を取って飛対を取るまではほぼ一本道の手順です。しかしながら、その後の収束がなかなかない展開で意表を突きます。77角の意味づけがダブった感じになったのが残念ですが、逆に言えばもうひと働きするので気分は悪くない。初形駒種も少なく、うまくまとめていると思います。

★ 正解者は5名。中盤までの趣向と収束が全く異質な2つの顔を持つ長編とでも言おうか。この頃作者は安南系や対面系の難解作を数多く発表されて解答者を苦しめました。最近は何も創られてないのかな？

## 解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

5月20日（火）

推理将棋 第32回出題

\* 推理将棋 3題

6月5日（土）

Onsite Fairy Mate 159回出題

\*Messigny 協力詰 1題

6月15日（月）

第22回WFPフェアリー作品展

6月15日（月）

Fairy of the Forest#23

\* 協力詰 6題

6月15日（月）

1手詰？コンクール

\* 普通詰将棋 4題

2010年 第23号

### Web Fairy Paradise

非売品

平成二十二年五月号

平成二十二年五月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp